



# 芝山小だより



3月号  
清瀬市立芝山小学校  
校長 清水 一臣  
<http://www.kiyose.ed.jp/>

## 令和3年度芝山小学校の教育活動について —「自学力」「言語力」「かかわり力」の育成と感染症予防対策の徹底—

校長 清水 一臣

コロナで始まりコロナで終わる令和2年度も残すところあと1月となりました。2月27日(土)には、「6年生を送る会」が教室でのVTR視聴という形で行われました。例年ですと体育館で全校児童が集まって行っていた「送る会」でしたが、今年は感染症予防のため、各学年が事前に録画したビデオメッセージの映像を6年生が教室で視聴することとなりました。一方同じ日に、5・6年生が校庭に広がって集まり、6年生から5年生への校旗の引き継ぎの儀式が行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況が不透明な中ですが、このように今年度のまとめとともに、すでに来年度のスタートに向けて準備が進められているところです。

以下に、現段階での来年度の教育方針と主な教育活動についてお知らせします。

- 1 **3つの資質・能力「自学力」「言語力」「かかわり力」**をすべての教科・領域等で具現化していきます。
  - 「**自学力**」○宿題の出し方を学年によって工夫する。
    - ➡・低学年は基礎・基本の定着を重視
    - ・高学年(4年生以上)は「**自学のノート**」を主としつつ家庭学習を進め、児童によっては、メニューを提示しながら基礎・基本の定着を図る。
  - 授業の中で、考える時間、根拠をもって話し合う時間を意図的・計画的に設ける。
  - 授業の中で、自分自身の考えを書かせる時間を意図的・計画的に設ける。
  - 「**言語力**」○すべての教科を通して**読解力と文章表現力**を身に付ける。(速く・正確に読む。)
  - 語彙力**を高める。(音読集、俳句創作＝季語、百人一首＝語感・リズム、国語辞典)
  - 本をたくさん読ませる。(質より量を重視する。)
  - 「**かかわり力**」○異学年の交流を意図的・計画的に設定する。(特別活動の活性化)
  - 立場を異にする人々との交流を設ける。(高齢者、障がい者、赤ちゃん 等)
  - 学級活動を活性化する。(学級内の話し合いによる解決。)
- 2 **協働学年経営体制**の推進＝同一学年の児童を学年の担任が共同して育てます。
  - ①全学年で授業交換・交流授業を実施する。
  - ②問題行動や生活指導を学級担任が協力し合って解決する。
- 3 4年生以上の**副担任制**の導入＝専科教員のサポート体制を導入します。
  - (例) ①給食時の対応補助
  - ②生活指導・問題発生時の協働的な指導
  - ③学年会への参加
- 4 言語能力の育成を図るための校内研究を推進します。
  - 研究主題「言語能力の向上を図るためのカリキュラムマネジメントの推進」
  - ➡○教科横断的な視点からの3回の研究授業と指導助言
  - 学年ごとの研究授業
  - 言語能力育成のための土台となる言語活動(主語と述語、修飾語と被修飾語、文章の構成 等)
  - 言語感覚の錬磨と語彙力の向上(音読集の活用 俳句の創作活動 読書活動 国語辞典の活用 百人一首の活用 漢字検定 等)
- 5 **GIGAスクール構想**に対応したタブレット端末の授業への活用を推進します。

この他、東京オリンピック・パラリンピックが実施されることを見通した、体力向上や国際理解教育の推進、特別支援教育の充実など、課題は山積しておりますが、引き続き感染症予防を徹底しつつ、芝山小学校の子供たちの健やかな成長のために教職員一同力を尽くしてまいります。引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

